20. ^{99m}Tc-MIBI が集積を示した縦隔内甲状腺腫の1例 …… 玉田　勉他 …1125
21. $^{99m}TcO_4^-$ シンチグラフィで高集積を呈した甲状腺腫瘍の検討 …… 奥村　能啓他 …1125
22. 甲状腺 oncocytoma の ^{201}TlCl，$^{99m}TcO_4^-$ シンチグラフィ …… 奥野　恵子他 …1125
23. ^{99m}Tc-phytate が集積した脾過誤腫の2例 …… 清水　建策他 …1125
24. 食道シンチグラフィの有用性 …… 中西　敏夫他 …1126
25. 骨髄シンチグラフィで診断し得た眼窩内髄外造血の1例 …… 石根　正博他 …1126
26. 血小板減少症の副脾検出に ^{111}In-oxine 標識血小板シンチグラフィが有用であった2症例 …… 西垣内一哉他 …1126

一　般　演　題

1. ^{123}I-IMP マイクロスフェア法としての一点動脈採血法——modified early 法を用いて——

井上　武　赤宗　明久
（松山市民病院・放）

マイクロスフェア法を用いた脳血流定量法を施行するにあたって，^{123}I-IMP 投与後早期の全脳の時間放射能曲線を微分し，5分時での1点採血による補正を加えることにより，入力カウントの算出を試みた．脳血管障害患者13例に対し，^{123}I-IMP ボーラス投与直後より1フレーム15秒，5分間の前面プラナー像より得た時間放射能曲線と5分時での全血カウントを用いて算出し，同時に施行した持続動脈採血でのオクタノール抽出入力カウントと比較した．直線回帰により，r=0.80 の良好な相関を得た．

2. Rat 心筋細胞微細構造下における Thallium 局在の電顕的評価 (第2報)

福本　光孝　吉村　尚子　黒原　篤志
久　修明　野田　能宏　藤原　良将
吉田　祥二　（高知医大・放）
赤木　直樹　（同・中放部）

昨年われわれは Thallium-Iodine-Ag の沈澱反応を利用して心筋細胞内 Tl の局在を筋小胞体に認めると報告した．その後の詳細な検討から標本作成段階で Tl の喪失が考えられ，新たな再現性の高い Vanadate を利用した検出法を考案し，心筋細胞内での Tl の局在が diffusible でありながら，mitochondria に比較的多く，核内には少ないこと．筋小胞体や T-tubules にも存在することを報告する．細胞内分布の時間的経過を電顕写真画像解析で Preliminal ながら定量的，統計的に検討した．これらの結果は，さらなる検討を必要とするが，細胞生物学的な文献とは一致している．

3. ^{99m}Tc-HMDP Bone scan による骨移植の評価

黒原　篤志　福本　光孝　吉村　尚子
宮崎　延裕　耕崎　志乃　吉田　大輔
吉田　祥二　（高知医大・放）
赤木　直樹　（同・中放部）

目的：血管柄付骨移植術後，Bone scan により移植骨の血流評価を行う場合の適切な時期について検討した．

Bergren，Shaffer らは，骨移植後7日以内の Bone scan 陽性は移植骨の微小血管吻合の開存を意味するが，7日以降の Bone scan 陽性は必ずしも微小血管開存を示していないと指摘している．今回われわれの調査でも血管柄付骨移植後7日以内の Bone scan 陽性例は確かに，微小血管吻合の開存を示し，予後も良好であった．しかし，7日以内の Bone scan 陰性1症例では2か月以降に false positive を示した．したがって血管柄付骨移植後の吻合血管開存を確認するには，術後1週間以内に Bone scan を行うことが望まれる．

Presented by Medical*Online